

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	LD・ADHD等教育総論					授業形態	講義		
科目コード	750148	単位数	1単位	配当学年	3年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	瀬戸口 裕二								
授業概要	<p>通常学校に在籍する、特別な教育的ニーズをもつ子どもたちが経験する困難を、その背景にある障害特性との関係で理解し、支援する視点を身につけることを目的とする。そこで、障害理解のための視点を示した上で、LD・ADHDを中心に、発達障害の定義と障害特性、および教育上のニーズと支援について、それぞれ概説する。</p> <p>また、制度転換から発生する新たな課題や問題点を整理し、制度設計の意義と展望を見通す。</p>								
関連する科目	特別支援教育総論 特別支援教育								
授業の進め方 と方法	<p>障害特性や抱える困難の関連性について、正しい理解を促すよう、体験やビデオにより学びを深める。復習をしながら講義を展開することで、理解をさらに深める。後半は事例を盛り込み、自ら支援案が考えられるよう実践的な内容を取り上げ、応用力につなげる。本授業は、質問や協議機会が多様に用意されています。また、授業中に様々な情報を検索したり確かめたりすることが推奨されています。発見された事実や協議された内容については広く共有される機会が保障されています。</p>								
授業計画 【第1回】	発達障害と特別支援教育における対応のあり方								
授業計画 【第2回】	認知機能の諸相とその障害（障害特性）								
授業計画 【第3回】	学習障害（LD）の定義と教育上のニーズ								
授業計画 【第4回】	注意欠陥多動性障害（ADHD）の定義と教育上のニーズ								
授業計画 【第5回】	発達障害に応じた指導～ユニバーサルデザイン教育								
授業計画 【第6回】	障害特性に応じた支援の方法①：学習面の困難に対する支援の方法								
授業計画 【第7回】	障害特性に応じた支援の方法②：行動面の困難に対する支援の方法								
授業計画 【第8回】	まとめ								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 発達障害を理解するための視点がわかり、説明できること</li> <li>2) LDの障害特性を理解しており、支援方法を考える手だてがわかること</li> <li>3) ADHDの障害特性を理解しており、支援方法を考える手だてがわかること</li> </ol>								
学位授与の方針 (DP)との関連	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)</li> </ol>								

授業時間外の学修 【予習】	毎回の授業でグループディスカッションや発表などの多様な授業形態を展開します。そのためには、授業以前の準備が求められます（30分程度）。
授業時間外の学修 【復習】	前時の学習のポイントについて、参考書やインターネット情報等を活用して再確認したり、検索された情報を下にして自らの学習を拡大したりする（30分程度）。
課題に対する フィードバック	必要に応じて出された課題については、次時には必ず発表機会を確保し、解説も合わせて行う。
評価方法・基準	授業での発言や提出レポートの内容(40%)、および最終試験またはレポート（60%）で総合的に評価する。最終試験においては、事項の暗記よりも、特別支援教育に関する理解の程度や問題意識を評価する。
テキスト	
参考書	上野一彦・花熊暁（編）『軽度発達障害の教育：LD・ADHD・高機能PDD等への特別支援』日本文化科学社 瀬戸口裕二編著 『特別支援教育月めくりカレンダー』 金子書房
備考	